

テーマ

## 政権交代後の政治とは

適用  
分野

地方選挙に関する解説、  
自治体史編纂

研究  
名称

地方政治における「政権交代後の政治」の実態  
の解明

氏名  
所属

平野准一 准教授  
法学部 法学科

内容

### ●特徴

近年の日本の地方政治では、選挙に強いはずの現職首長の敗北が相次いだり、それまで協調関係にあった首長と議会の対立が激化するなど、大きな変化が起きています。有権者に直接支持を訴えて議会と全面対決するという首長以外に、自前の政党を立ち上げて議会での多数派の確保を目指す首長も出てくるようになりました。こうした変化を踏まえて、個々の首長（とりわけ市長）が、自らの支持基盤の維持・形成をどのように行っているのかについて研究を続けています。

### ●研究内容

既存の議会多数派に支えられた現職首長を選挙で破り、新たに当選した首長を取り巻く環境は極めて厳しいものがあります。議会の議員の大半が現職を応援していれば、新たに当選した首長に対する議員の態度は往々にして冷ややかなものとなります。議

会多数派により、副知事や副市長等の首長提案の人事案が否決されたり、時には選挙で掲げた重要政策を潰されたり、最終的には首長と議会多数派の全面対決に至ることもあります。

こうした場合、新たに当選した首長はどのような戦略・手法により自らの支持基盤を構築していくのでしょうか。ある首長は議会多数派に話し合いを呼びかけ、妥協を図ろうとすることが考えられます。これに対し、別の首長は議会をバイパスして有権者に直接支持を訴えて、味方にするのを考えるかもしれません。また、中には議会多数派を分断し、独自の支持基盤を議会に築く首長もいるかもしれません。以上のような首長の戦略・手法の選択が何によって規定されているのかを明らかにすることで、新たに誕生した首長による政権交代後の政治の実態を解明することができると考えています。

キーワード

政治学、地方政治論、選挙研究

連携方法

■ 講演

□ 研修

■ 研究相談

□ 学術調査

□ コメント

□ 共同研究